

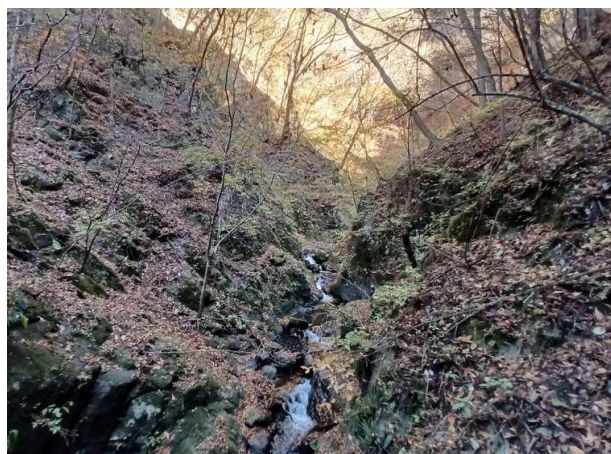
沢部横断道路にダブルウォールを適用した事例



湖畔の歩道を拡幅して管理道も兼ねた林道を開設する区間で、沢部を横断する箇所に林道を兼ねた開渠形式のダブルウォールを適用した事例です。

1. 設計するにあたっての課題

- ・ 沢部を横断する箇所は谷幅が狭く急峻な地形であり、対象流量（100年確率洪水 $61\text{m}^3/\text{s}$ ）の排水路構造をコルゲート管渠形式にすると、通水断面の直径が大きくなり（安全率を考慮すると4.0m近くになる）現地での設置が難しい。
- ・ 車両が通行できる幅員を確保し、景観にも配慮した構造にする。



2. 解決するために実施したダブルウォール

- ・スリット形式の開渠形式とし、上下流面の基礎コンクリートを兼ねた土砂止めを設けスリット両壁面は鋼矢板壁面アンカーウォール補強土壁としました。
- ・開渠上部の道路面はグレーチングをダブルウォール鋼矢板壁面とコンクリート版構造で支持し、10 t 車の走行荷重に対応できる構造にしています。
- ・下流面をL型エキスパンドメタルユニットとし緑化できる構造にしています。



スリット形式の開渠形式



基礎コンクリートを兼ねた土砂止め



スリット両壁面の鋼矢板面アンカーウォール補強土



開渠上部の道路面のグレーチング



エキスパンドメタルユニットを使用し緑化した下流面